






イピリムマブ+ ニボルマブ療法

+ 大津赤十字病院 薬剤部

【治療スケジュール】

以下のメニューのおくすりを3週間毎繰り返します。

				← 1クール →	
				第1日目	2~21日
薬剤名	外観	液色	薬効	投与方法	点滴
① 生食注		無色	治療前の流しです。	↓ 15分・点滴	お休み
② オプジーボ注 [®] (ニボルマブ)		無色	細胞増殖を抑えます。	↓ 30分・点滴	
③ 生食注		無色	お薬を洗い流します。	↓ 30分・点滴	
④ ヤーボイ注 [®] (イピリムマブ)		無色	細胞増殖を抑えます。	↓ 30分・点滴	
⑤ 生食注		無色	お薬を洗い流します。	↓ 15分・点滴	

※お薬の投与速度・投与間隔が変わることがあります。

※また、症状に応じてお薬を変更・追加・削除することがあります。

【注意事項】

点滴中は安静にし、注射の針を刺している部分が動かないように心掛けてください。
お薬が皮膚に漏れると、針を刺している部分に違和感や痛み、腫れ、赤み等が現れることがあります。
このような症状がありましたら速やかにお知らせください。
また、このような症状は点滴終了後や、しばらくたってから起こることがありますのでご注意ください。

【免疫チェックポイント阻害薬投与中に気をつける】

がん免疫療法の一つである免疫チェックポイント阻害薬は、がん細胞によって抑えられていた免疫機能を再び働きかけることによってがん細胞への攻撃力を高めます。この免疫の作用が過剰に働きすぎることによって副作用が起こる可能性があります。

これらの症状が必ず起こるということではありません。発現頻度・程度・時期には個人差があります。

あらかじめ副作用の種類や症状を知ることによって、副作用の早期発見と対処につながります。

安心して治療を継続するためにも、以下に記載している症状が現れた場合は、医師または薬剤師にご相談ください。

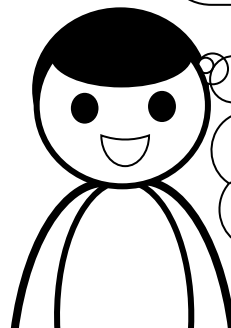
- 息切れ、息が苦しい
 - 空咳（痰がない咳）
 - 発熱
- ・・・風邪によく似た症状です。
間質性肺疾患の可能性があります。

- いつもより排便回数が多い
 - 血便
 - 黒い便が出る
 - 腹痛を伴う下痢
 - 吐き気・嘔吐
- ・・・大腸炎の可能性があります。

- 皮膚がかゆい
 - 発疹が出る
 - ひどい口内炎
 - 水ぶくれが出る
- ・・・皮膚障害の可能性があります。

- 皮膚や白目が黄色くなる
 - 体のだるさ
 - 吐き気
- ・・・肝障害の可能性があります。

- いつもより疲れやすい
 - からだがだるい（倦怠感）
 - 体重の増減がある
 - 気力の低下
- ・・・甲状腺・下垂体・副腎など内分泌異常の確認が必要です。



この他にも気になる症状があれば、医師または薬剤師に申し出てください。

- 手足に力が入らない
 - ものが二重に見える
 - ろれつが回らない
 - 呼吸が苦しい
 - 食べ物がうまく飲み込めない
- ・・・重症筋無力症、筋炎の可能性があります。

- 水をいつもより多く飲む
(水分をとってもすぐにのどが渇く)
 - のどが渇く
 - 尿が増える
- ・・・1型糖尿病の可能性があります。

連絡先 大津赤十字病院

Tel 077-522-4131

平日8:30 ~ 17:00 受診されている診療科

平日17:00 ~ 翌8:30 及び休日 救急外来

- 手足に力が入らない
 - しびれ
 - 疲れやすさ
 - 痛み・感覚が鈍くなる
 - ものがつかみにくい
- ・・・神経障害の可能性があります。